

看護学教育評価
評価報告書

受審校名 北海道公立大学法人札幌医科大学保健医療学部看護学科

(評価実施年度) 2021 年度

(作成日 2022 年 3 月 11 日)

一般財団法人 日本看護学教育評価機構

I. 総合判定の結果

(適合 不適合 保留)

認証期間：2022年4月1日～2029年3月31日

II. 総評

札幌医科大学保健医療学部看護学科は、大学の建学の精神を踏まえ、創造性に富み人間性豊かで倫理観をもち、北海道、広く日本社会、さらに世界の保健医療に貢献できる実践能力を備えた看護職を育成することを目的とし、大学および保健医療学部の教育目標と教育に関するポリシーに整合した看護学教育を行っている。

教育課程は理念・目標、ポリシーと一貫しており、看護職に必要な知識・技術・態度を修得するための「一般教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」を段階的・階層的に学ぶよう体系的な編成となっている。初年次教育を意識した「基礎セミナー」は、大学で学ぶために必要な内容で構成され、事前学習としてeラーニングを活用する等、主体的学習を促進している。「学習の手引き」にも「受講の要領、レポートの作成、グループ学習の進め方、学習活動に伴う個人情報管理、学習倫理、共用研究室使用マニュアル」等、詳細かつ丁寧に示されており、学ぶための心構えを作る工夫がなされている。

教育内容はディプロマ・ポリシー（以下、DP とする）、カリキュラム・ポリシー（以下、CP とする）に基づいて構築されており、各科目の到達目標は具体的に示されている。また、学生の主体的学びを促進する常時使用可能な図書館、コンピュータ実習室、さらには学外からもアクセス可能な図書検索、eラーニング教材などハード・ソフト両面の整備や1年次から4年次まで使用可能な「学習の手引き」など教育効果を高めるための様々な措置が講じられている。教員の能力の確保では、従来の新任教員研修FDを新任教員育成プログラムとして策定したことをはじめ、科学研究費補助金の獲得に向けた組織的な取り組みが行われている。主たる実習施設である附属病院と「看護キャリア支援センター」を共同で設置し、附属病院看護部との人事交流を行い、臨地実習、学内演習などで臨床と教育のユニフィケーションを図っている。看護基礎教育における共同指導体制を確立していることは評価できる。

教育目標、教育課程の評価は、アセスメント・ポリシーに基づき、自己点検・評価を実施している。内部質保証推進委員会をはじめ関係組織による教育活動の点検と評価とともに、評価データを用いた教育課程の改善が継続的に行われる組織体制が整えられている。

入学者選抜試験はアドミッション・ポリシー（以下、AP とする）に基づいて行われている。毎年、医療人育成センター入試・高大連携部門による進路指導教諭へのヒアリング結果、入試形態別の学修状況の追跡資料等、幅広いデータに基づき組織的な検証がなされ、ポリシーに沿った入学生を獲得できている。

一方、看護学教育の責任者である看護学科長は、「大学教員兼務規程」に保健医療学部長により保健医療学部の教授が推薦されると記載されているが、選考基準については明示されていない。不文法・慣習法的に公平・公正な方法で行われてきているが、選考基準が変動する可能性は否めない。選考基準の明文化について検討が求められる。

総じて、不断の自己評価と組織的な検討・改善による教育の質保証への取り組みによって、

卓越した教育内容となっており、学生からも高い評価を得ている。引き続き優れた取り組みをおし進め、看護学教育をさらに発展させていくことを期待する。

以上